



A. Takeda

JRA 70周年記念

THE RADIO NIKKEI SHO

第73回 ラジオNIKKEI賞 (GⅢ)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円
付加賞 427,000円 122,000円 61,000円



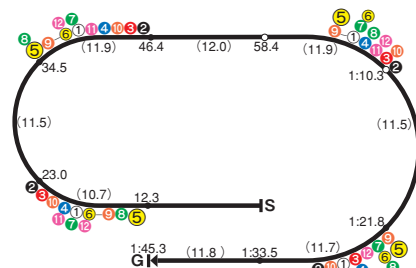
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳、2023.7.1以降2024.6.23まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2024.6.30 福島 雨・良 芝1800m (国産) (特指)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑤	オフトレイル	牡3	56	田辺裕信	1:45.3	12-11-11-11	34.2	444(+10)	11.2⑥	吉村圭司(栗東)	109
2	①	シリウスコルト	牡3	56	三浦皇成	アタマ	6-6-8-3	34.5	478(+6)	6.4④	宗像義忠(美浦)	108
3	④	ヤマニンアドホック	牡3	54	津村明秀	1¼	4-4-6-5	34.9	454(+8)	7.7⑤	辻 哲英(美浦)	102
4	②	メイショウヨゾラ	牝3	51	吉田 豊	クビ	1-1-1-1	35.3	466(±0)	25.4⑫	高柳瑞樹(美浦)	95
5	⑩	ショーマンフリート	牡3	54	菅原明良	1¾	8-8-4-7	35.4	486(-6)	5.9③	手塚貴久(美浦)	
6	⑧	ログラール	牡3	54	北村友一	¾	10-10-11-11	34.9	470(-4)	22.4⑪	松永幹夫(栗東)	
7	⑦	ウインマクシマム	牡3	55	松岡正海	1½	8-8-8-8	35.5	480(+2)	5.6②	畠山吉宏(美浦)	
8	⑪	ジュンゴールド	牡3	54	荻野 極	¾	4-5-4-3	35.8	482(±0)	20.2⑩	友道康夫(栗東)	
9	⑨	サトノシュトラース	牡3	56	M.デムーロ	クビ	11-11-6-8	35.8	514(±0)	5.1①	友道康夫(栗東)	
10	⑪	ミナデオロ	牡3	57	西塚光二	1¾	3-3-2-2	36.3	494(+8)	19.2⑨	藤原英昭(栗東)	
11	⑦	アレグロプリランテ	牡3	56	横山和生	アタマ	6-6-8-8	36.0	466(±0)	13.0⑦	上原佑紀(美浦)	
12	③	セットアップ	牡3	58	戸崎圭太	3	2-2-2-5	36.8	484(-)	13.3⑧	鹿戸雄一(美浦)	

単勝⑤1,120円(6¼%) 複勝⑤340円(7¼%) ①250円(5¼%) ④240円(4¼%) 格連①-⑤1,190円(4¼%)
馬連①-⑤2,960円(13¼%) ワイド①-⑤910円(7¼%) ④-⑤1,200円(18¼%) ①-④990円(14¼%)
馬単⑤-①6,800円(32¼%) 3連複①-④-⑤7,000円(23¼%) 3連単⑤-①-④45,740円(167¼%)
5重勝③④⑤⑥⑦7,618,780円(51票) 対象競走：小倉10R/福島10R/函館11R/小倉11R/福島11R



通過タイム：600m 800m 1000m
34.5 - 46.4 - 58.4 上り：800m 600m
46.9 - 35.0

アラカルト

- ・田辺裕信騎手はブレイキングドーンで制した19年に続くラジオNIKKEI賞2勝目。JRA重賞は本年初勝利、通算45勝目
- ・吉村圭司調教師はラジオNIKKEI賞初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算10勝目
- ・Farhh産駒はJRA重賞初勝利
- ・ハンデ戦となった06年以降、外国産馬による勝利は07年ロッキドゥカンパ以来17年ぶり、通算2回目

⑧ オフトレイルGB *Off Trail*

牡 鹿毛 2021.5.14生
イギリス Godolphin生産
馬主・ゴドルフィン 栗東・吉村圭司厩舎
馬名意味・道のないところに行く

F2-c

Farhh 鹿毛 2008	Pivotal 栗毛 1993	Polar Falcon
		Fearless Revival
	Gonbarda 鹿毛 2002	Lando
		Gonfalon
Rose Trail 鹿毛 2007	Kingmambo 鹿毛 1990	Mr. Prospector
		Miesque
	Mannington 鹿毛 1997	Danehill
		Bint Marscay

5代までのインブリード：Nureyev S4×M4 Northern Dancer S5×M5×M5

INTERVIEW

ハリー・スウィーニ代表取締役
(ダーレー・ジャパン)

さらに強くなると期待します

オフトレイルが後方から目の覚めるような末脚で追い込み、最後交わせたかどうかという非常にエキサイティングなゴール前でしたので、私はその勝利をスローモーションリプレイで確認しなければならないほどでした。本馬は遅生まれで完成途上なところがあり、重賞を制するのが3歳の夏になりましたが、ここから4歳にかけてさらに強くなっていくと期待しています。

K. Miura



昨年10月にデビューし、2戦目に初勝利を挙げた本馬は1勝クラスも2戦で卒業。重賞初挑戦のアーリントンCは32秒台の上がりタイムを記録しながら6着、続く白百合Sは逃げ切った勝ち馬を掴まえきれず2着に敗れたが、タイトルに手が届く下地は示していた。レースレコード、コースレコードタイを記録したこの日の勝ちタイムは掛け値なしに優秀。4歳時に本格化し、マイルと10分のG1を連勝した父ファアの血を受け継ぐ本馬の今後には、大きな期待が膨らむ。

父ファア Farhh

イギリス産 英、仏10戦5勝(チャンピオンS・英^{G1}、ロッキンジS・英^{G1}、インターナショナルS・英^{G1}2着、エクリプスS・英^{G1}2着、サセックスS・英^{G1}2着、ムーランドロンシャン賞・仏^{G1}2着)、14年から英で供用
〔代表産駒〕**キングオブチェンジ** King of Change(クイーンエリザベスⅡ世S・英^{G1}、英2000ギニー^{G1}2着)、**フォンテン** Fonteyn(サンチャリオットS・英^{G1})、**トリバリスト** Tribalist(ミュゲ賞・仏^{G2}2回、エドモンブラン賞・仏^{G3}2回、ベルトランデュブルイユ賞・仏^{G3})、**ムーヴスイフトリー** Move Swiftly(デュークオブケンブリッジS・英^{G2})、**ノクターナルフォックス** Nocturnal Fox(オカール賞・仏^{G2})、**ディーイクスビー** Dee Ex Bee(サガロS・英^{G3}、ヘンリーⅡ世S・英^{G3}、英ダービー^{G1}2着)、**ウェルズファーゴ** Wells Farhh Go(エイコムS・英^{G3}、パーレントロフィー・英^{G3})、**ティファニー** Tiffany(ホッピングズフィリーズS・英^{G3})、**アットラスト** Atlas(ラフォルス賞・仏^{G3})、**ファアバヴ** Far Above(パレスハウスS・英^{G3})、**オフトレイルGB**(本馬)

母ローズトレイルUSA

不出走。14年輸入、15年輸出(英)

ローゼンタル Rosental(12 牝父Pivotal)仏、英、愛16戦4勝(ダリア賞・仏L2回、フィユドレール賞・仏^{G3}3着、アップエイヴォンS・英L3着)
ローザインベリアル Rosa Imperial(13 牝父Pivotal)仏、首9戦4勝(リゾランジ賞・仏^{G3}、ラカロヌ賞・仏L、ハンプトン賞・仏L、ロートシルト賞・仏^{G1}3着)

リボンズンローズ Ribbons 'n' Roses(14 牝父Cape Cross)愛4戦0勝
リーディングエッジ(15 騾父New Approach)持込 中央9戦1勝
イヴニングブルーム Evening Bloom(16 牝父アドマイヤムーン)不出走
アーザムローズIRE(18 牝父Golden Horn)不出走
(20 牝父Farhh)

オフトレイルGB 本馬(21 牝父Farhh)中央7戦3勝(ラジオNIKKEI賞^{GⅢ}、こぶし賞、白百合S・L2着)獲得総賞金71,517,000円
(23 牝父Oasis Dream)

※17(流産)、19、22(報告なし)

祖母マニントン Mannington

オーストラリア産 豪3勝(ブルーダイヤモンドプレリユードフィリーズ^{G3}、タリダートS・L)、**ベニシオ** Benicio(ヴィクトリアダービー・豪^{G1})、**ロムネヤ** Romneya(ムーニーヴァレーフィリーズクラシックオークス・豪^{G2})、**ロヘリン** Roheryn(ショーカウンティクオリティ・豪^{G3})の母

豪快な大外強襲で重賞初制覇

夏の福島開催の開幕を飾るラジオNIKKEI賞は重賞好走やGI参戦歴を持つ面々と新興勢力が混在。上位拮抗の様相を呈したなか、青葉賞の4、5着馬サトノシュトラッセ、ウインマクシマム、前走の1勝クラス戦を好時計で快勝したシヨーマンフリートが、5倍台のオッズで1〜3番人気の支持を分けた。とはいえ勝利を飾ったのは、惑星候補の1頭と目されていたオフトレイル。「道のないところに行く」という意味の馬名を持つ英国産馬が豪快な大外強襲を決め、さらなる飛躍を予感させる一歩を踏み出した。

ゾラが内枠から飛び出して先手を奪取、緩みのないラップを刻んで地力勝負の流れをつくる。ウインマクシマムは少し折り合いに苦勞しながら中団馬群の後方につけ、シヨーマンフリートがその直後を追走。出足がひと息で、1コーナーを後方2番手で回ったサトノシュトラッセは向正面で進出を開始し、中団まで位置を押し上げた。

一方、スタートで立ち遅れたオフトレイルの田辺裕信騎手は1コーナーを最後方でターン。サトノシュトラッセが仕掛けた向正面でも我関せずの構えで動かず、4コーナーから馬群の外を回って追撃にかかる。直線に向き、そのまま大外へ持ち出された馬は目を見張るような末脚を發揮。内々をソツなく立ち回って追い込み、先に抜け出したシリウスソルトを離れた外から一気に差し切った。